


平成27年度 子どもゆめ基金 体験の風リレーションシップ事業 おおすみくん家フェスティバル

- 1 趣 旨 国立大隅青少年自然の家の活動施設を地域の方々に開放し、さまざまな体験活動等に参加してもらうことで、青少年自然の家に対する理解を促し、地域に根ざした施設としてさらに充実且つ発展することを目的とする。
- 2 期 日 平成27年12月6日(土)～7日(日) 1泊2日
- 3 対 象 者 個人、家族、グループ等
- 4 募集定員 宿泊参加者(35家族、グループ)
日帰り参加者(制限なし)
- 5 参 加 者 宿 泊： 158人(37家族)
日 帰 り： 1,441人(2日間)
合計人数： 1,757人
- 6 指 導 者 スポーツライミング(江口智昭氏他 5人)
協 力 者 鹿児島県教育委員会
鹿児島県立青少年研修センター
鹿児島県立奄美少年自然の家
鹿児島県立南薩少年自然の家
宮崎県御池青少年自然の家
出水市青年の家
薩摩川内市立少年自然の家
鹿児島大学奇術部
鹿屋体育大学自転車競技部
鹿屋体育大学アスレチックトレーナー部
国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア(延べ19人)



7 日程と主な活動

1日目 12月6日(土)		2日目 12月7日(日)	
9:30	受付	7:30	朝食
10:00	オープニング 太鼓演奏(野里保育園) マーチング(根占保育園) 各コーナー活動・昼食	8:45	日帰り受付
	体験コーナー クラフトコーナー	9:00	各コーナー活動～昼食 体験コーナー クラフトコーナー
16:00	各コーナー終了	13:30	スペシャルライブ ・otto & orabu(しょうぶ学園)
18:00	夕食	14:30	閉会行事及びお楽しみ抽選会
19:00	お楽しみプログラム “ファンタジージャグリングショー” (鹿児島大学奇術部の皆さん)	15:00	終了
20:00	入浴		
22:00	消灯		

8 事業運営について

多くの地域の方々に当施設を知っていただくため、施設を開放し、様々な体験コーナーやクラフト活動、イベントを位置付け、プログラムを計画した。

- (1) 体験コーナーでは、小さい子供から大人まで楽しめる内容を計画し、体験することの楽しさを味わえるようにした。
- (2) 1日目は「ふれあいデー」と称し、鹿児島県内の青少年教育機関にブース出展を依頼し、多彩なクラフトメニューを提供できるよう計画した。
- (3) 青少年の成果発表の場という側面も考慮し、鹿児島大学や鹿屋体育大学の大学生にも出展してもらうよう働きかけた。

9 事業の実際

(1) 体験コーナー

体験コーナーではプレイホールで、スポーツライミングや小さな子も楽しめるエア遊具、ジャンボシャボン玉などを実施した。多くの方が、普段なかなか体験できない活動を楽しんでいた。

(2) クラフト活動

初日は県内各教育機関による様々なクラフトメニューを、2日目はクリスマスにちなんで「クリスマスリース」「松ぼっくりツリー」作りをはじめ、小さい子供でも簡単に作れる「ブーメラン」「紙ジャイロ」等を実施した。

多くの参加者が家族で一緒に取り組み、作ることの楽しさを味わうことができた。

(3) イベント

オープニングでは、野里保育園による太鼓演奏と、根占保育園によるマーチングを行った、園児たちの懸命なパフォーマンスに来場者から大きな拍手があった。

夜のジャグリングショーでは、鹿児島大学奇術部のメンバーによるマジックやジャグリングを宿泊者で楽しんだ。

スペシャルライブでは、鹿児島市にある社会福祉施設の入所者で構成される「otto & orabu」の演奏を行った。来場者は、躍動感あふれる力強いパフォーマンスを存分に楽しんでいた。

10 成果

多くの来場者があり、施設のPRや体験活動の楽しさ、必要性について普及啓発することができた。

公立施設をはじめ、様々な団体に関わっていただくことを通して、新たなネットワークの構築に資することができた。

